

## 県内消費者の電子商取引の利用状況

群馬経済研究所 主席研究員 樹下芳久

### ～要約～

1. 経済産業省によると、わが国において、企業と消費者との間で行われているインターネット通販をはじめとする消費者向け電子商取引（以下、電子商取引）が拡大を続けており、2018年でその規模は18兆円となっている。
2. 群馬経済研究所が、電子商取引の利用状況を把握するため、群馬県内の消費者を対象にアンケート調査を実施したところ、17年12月～18年11月までの1年間で、電子商取引を「利用した」消費者は75.4%であった。
3. 電子商取引における1カ月当たりの支出金額は、「5千円未満」が29.9%、「5千円～1万円未満」が29.2%、「1万円～3万円未満」が33.3%と、ほぼこの3つの階層に分けられる。
4. また、年間支出金額では、前年より「増えた」と回答した消費者は46.9%で、「変わらない」も46.5%みられた。一方「減った」はわずかであった。
5. 電子商取引で購入した主な商品は、「おしゃれ着・身の回り品」「食品」「旅行の予約」「美容関連用品」「書籍」であった。
6. 電子商取引を利用する主な理由は、「店舗に行く必要がない」「時間を気にせず商品を選べる」「店舗販売より安い」「豊富な商品から選べる」「宅配をしてくれる」であった。
7. 20代・30代では電子商取引の「利用を増やす」が3割強にのぼっており、今後の利用拡大が予想される。

キーワード：通信販売 インターネット予約 ロジスティクス